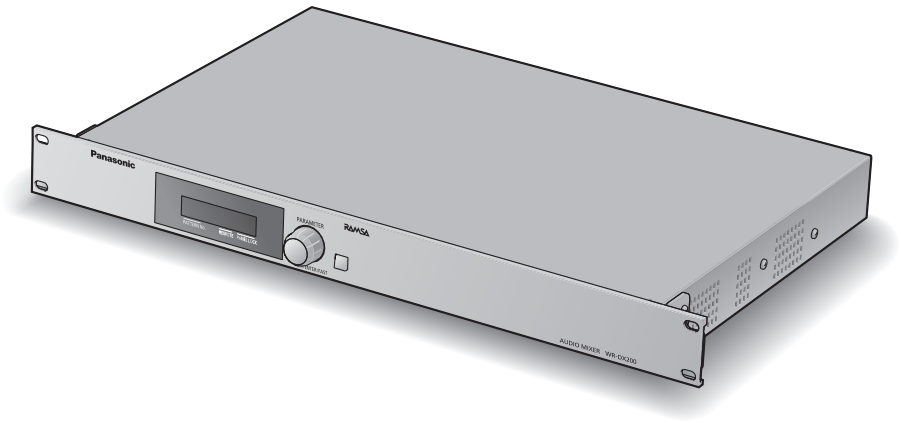
Panasonic

取扱説明書

iPad用リモートコントロールソフト

品番： WR-DX200/WR-DX200DAN

RAMSA



イラストはWR-DX200です。

はじめに

商品概要

iPadおよび無線LANを使用可能なネットワーク環境を用意することで、iPad用リモートコントロールソフト（以下、本ソフトウェア）からオーディオミキサー（WR-DX200/200DAN 以下、本体）の各種設定や操作を行うことができます。無線LANの通信範囲内であれば、会議室や講義室にて、遠隔で本ソフトウェアから本体を操作することができます。

取扱説明書について

- 本書はWR-DX200/200DAN専用iPad用リモートコントロールソフトの操作方法について記載しています。本体やPC用リモートコントロールソフトの機能に関する内容は、本体およびPC用リモートコントロールソフトの取扱説明書をお読みください。
- 本書の記載は、2022年11月現在のものです。
- iPadや無線ルーターの操作、設定については、各機器の取扱説明書をご確認ください。

記号について

本書では、以下の記号を用いて説明しています。



：該当する機能を使用するにあたり、制限事項や注意事項が書かれています。



：使用上のヒントが書かれています。

商標および登録商標について

- Adobe、Acrobat Reader および Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Appleロゴ、iPadおよびiOSは、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

必要なiPadの環境について

本ソフトウェアは以下のシステム環境を持つiPadで使用できます。

iPad	9.7インチiPad、iPad Air、iPad mini、10.5インチ iPad Pro、11インチ iPad Pro、12.9インチ iPad Pro
iPadOS	iOS12、iPadOS13以降
Wi-Fi	IEEE802.11ac推奨

著作権について

本製品に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリングは禁じられています。また、本製品に含まれるすべてのソフトウェアの輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

はじめに

略称について

本書では以下の略称を使用しています。

- 9.7インチiPad、iPad Air、iPad mini、iPad ProをiPadと表記しています。
- WR-DX200/200DANを本体と表記しています。

オープンソースソフトウェアについて

本ソフトウェアには、オープンソースソフトウェア（OSS）が含まれています。
オープンソースソフトウェアのライセンスや著作権に関する詳細は本ソフトウェアの「メニュー」画面で確認することができます。（18ページ）なお、オープンソースソフトウェアに関するご質問にはお答えしかねますので、あらかじめご了承ください。

ネットワークに関するお願い

本ソフトウェアはネットワークへ接続して使用するため、以下のような被害を受けることが考えられます。

1）情報の漏えいや流出
2）悪意を持った第三者による不正操作
3）悪意を持った第三者による妨害や停止

このような被害を防ぐため、お客様の責任の下、下記のような対策も含め、ネットワークセキュリティ対策を十分に行ってください。

- インターネットに接続していない安全性の確保されたネットワーク上で使用する。
- コンピューターウイルスや不正プログラムの感染に対するチェックや駆除が定期的に行われていることを確認する。
- 多重ログインなどの不正な攻撃から守るため、認証を利用し、パスワードは8文字以上かつ文字種類3種以上を使用するなどして、第三者に推測されないようにする。
- パスワードを第三者の目に触れないよう、適切に保管する。
- パスワードは、定期的に変更し、他のアカウント情報と同じものを使いまわししない。
- 本体の設定情報をネットワーク上に漏洩させないため、認証設定でアクセスを制限するなどの対策を実施する。
- iPadのパスコード設定を行い、第三者に操作されないようにする。

免責について

弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

① 本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
② お客様の誤使用や不注意による障害または本商品の破損など不便・損害・被害
③ お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
④ 本商品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、運用ができないことなどで被る不便・損害・被害
⑤ 第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
⑥ 本商品の不良･不具合以外の事由（取付工事の不備、建屋側取り付け面の不良などを含む）による落下などによる不便･障害･被害
⑦ 登録した情報内容が何らかの原因（ユーザー名、パスワードなどの認証情報を忘れたことにより本商品を初期化する場合を含む）により消失してしまうこと

もくじ

はじめに …… 2
- 商品概要 …… 2
- 取扱説明書について …… 2
- 記号について …… 2
- 商標および登録商標について …… 2
- 必要なiPadの環境について …… 2
- 著作権について …… 2
- 略称について …… 3
- オープンソースソフトウェアについて …… 3
- ネットワークに関するお願い …… 3
- 免責について …… 3

共通操作 …… 5
- **インストール・アンインストール** …… 5
  - インストールのしかた …… 5
  - アンインストールのしかた …… 5
- **起動と終了** …… 6
  - 起動のしかた …… 6
  - 終了のしかた …… 6
- **ネットワーク接続** …… 7
  - Wi-Fi接続について …… 7
  - ネットワーク環境について …… 7
- **ネットワーク構成について** …… 8
- **オンラインモードとオフラインモードについて** …… 9
  - オンラインモード …… 9
  - オフラインモード …… 9
  - オンラインモードへの切り替え …… 10
  - オフラインモードへの切り替え …… 10
  - オーディオミキサーの検索 …… 11

基本操作 …… 13
- **画面説明** …… 13
  - 画面構成 …… 13
  - カスタム画面 …… 14
- **フェーダーレベル調節ガイドについて** …… 17

応用操作 …… 18
- **メニュー画面** …… 18
- **アプリケーション設定** …… 19
  - 起動方法 …… 20
  - 外部機器登録 …… 20
  - 外部機器コマンド登録 …… 22
  - レイヤーカスタマイズ …… 24
  - カスタムレイヤー設定 …… 25
  - ASSIGNABLE KEYカスタマイズ …… 27
  - パスコード設定 …… 29
  - 認証設定 …… 30
- **バックアップ** …… 31
  - データセーブ …… 32
  - データロード …… 33
  - データ転送 …… 34
  - データ削除 …… 35

故障かな!? …… 36

共通操作

インストール・アンインストール

■ インストールのしかた

1 iPadから「App Store」にアクセスしてください。「RAMSA DX200（アプリケーションの名前）」を検索し、iPadにアプリケーションをインストールします。

Download on the App Store

インストールが完了したらホーム画面に「RAMSA DX200」のアイコンが表示されます。





- 使用許諾に同意しない場合、「RAMSA DX200」を使用することはできません。

■ アンインストールのしかた

1 ホーム画面の「RAMSA DX200」のアイコンをロングタップします。

2 「Appを削除」をタップすると、確認画面が表示されます。

3 「削除」スイッチをタップします。

本ソフトウェアがアンインストールされます。

起動と終了

■ 起動のしかた

1 ホーム画面上の「RAMSA DX200」アイコンをタップすることにより、本ソフトウェアが起動します。



本ソフトウェアが起動すると、「ミキサー選択」画面が表示されます。「ミキサー選択」画面でオンラインモードかオフラインモードを選択します。オンライン・オフラインについては「オンラインモードとオフラインモードについて」（9ページ）をお読みください。

重要

- インストール後、初めて本ソフトウェアを起動したときに「使用許諾」画面が表示されます。「使用許諾契約」をよく読み、同意する場合は［同意する］スイッチをタップしてください。

■ 終了のしかた

1 Appスイッチャーを開く
（iPadのホームボタンをダブルクリック、もしくは画面下から中央にスライド）

2 本ソフトウェアを上にスワイプします。

ネットワーク接続

本ソフトウェアは本体とネットワーク接続することで本体の設定・制御を行うことができます。

■ Wi-Fi接続について

本ソフトウェアはWi-Fi経由でネットワーク上の本体に接続します。Wi-Fiアクセスポイントの設定はiPadの取扱説明書に従って設定してください。
外部からの不正アクセスを防ぐためにセキュリティー設定をすることをおすすめします。

■ ネットワーク環境について

本体のネットワーク・インタフェースに関する仕様は以下のとおりです。
ネットワーク　：100BASE-TX
対応プロトコル ：IPv4：TCP/IP、UDP/IP

本ソフトウェアでは同一ネットワーク上の本体を検索し、ネットワーク設定を行うことができます。
本体のネットワーク設定については「オーディオミキサーの検索」（11ページ）をお読みください。本体のネットワーク設定の初期値は以下のとおりです。

項目	初期値
IPアドレス	192.168.1.20
サブネットマスク	255.255.255.0

重要

- 本体と接続する場合、本体と本ソフトウェアは必ず同一ネットワークアドレス上に存在するようにネットワーク設定を行ってください。異なるネットワークアドレス上の本体に接続することはできません。
- 同一ネットワークアドレス上に同じIPアドレスの機器が存在すると正しく接続することができません。同一ネットワークアドレス上に複数の本体を接続する場合は、本体のIPアドレスを変更してください。
- 本体が本ソフトウェアと同一ネットワークに接続されている場合は本ソフトウェアから本体のIPアドレスを変更することができます。詳細は「オーディオミキサーの検索」（11ページ）をお読みください。

memo

- 例えば、複数の本体を接続する場合、次のようにIPアドレス、サブネットマスクを設定することで、正しく接続することができます。

機器	IPアドレス	サブネットマスク
ミキサー	192.168.1.20	255.255.255.0
WiFiルーター	192.168.1.30	255.255.255.0
PC（PCリモートコントロールソフト用）	192.168.1.40	255.255.255.0
iPad（本ソフトウェア用）	192.168.1.50	255.255.255.0

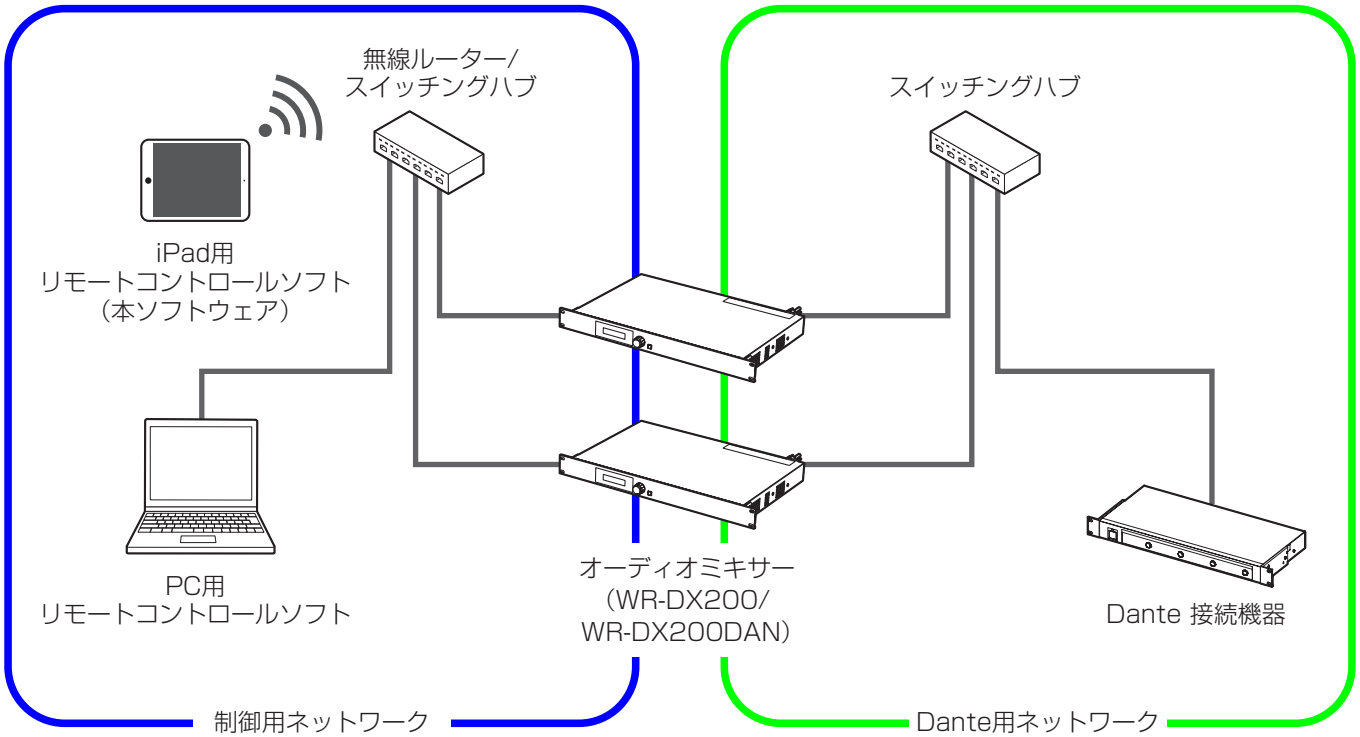
ネットワーク構成について

システムを構成するネットワークは以下の2種類があります。
制御用ネットワーク　：PC用／iPad用リモートコントロールソフトから本体を制御するためのネットワーク
Dante用ネットワーク：Dante機器同士を接続するためのネットワーク

重要

- 制御用ネットワークとDante用ネットワークは必ず独立したネットワークを構築してください。同一ネットワーク上に共存させた場合は正しく動作しないことがあります。

<システム構成例>



memo

- iPad用リモートコントロールソフトと本体を接続するには無線ルーターが必要です。外部からネットワークへの侵入を防ぐために、WPAのようなセキュリティー設定をお願い致します。
- iPadのIPアドレスは、本体と同じサブネットが設定されているかを確認してください。
- 1台の本体に同時に接続できる制御機器は、リモートコントロールソフト、WR-PU200、外部機器を含めて合計8台までです。外部機器は本体に8台の登録ができますが、まとめて1台として扱います。

オンラインモードとオフラインモードについて

本ソフトウェアは、本体との接続状態により、オンラインモードとオフラインモードの2種類の状態があります。
オンラインモードとオフラインモードの切り替えは、起動時あるいは「メニュー」画面から行います。
「メニュー」画面については18ページをお読みください。

■ オンラインモード

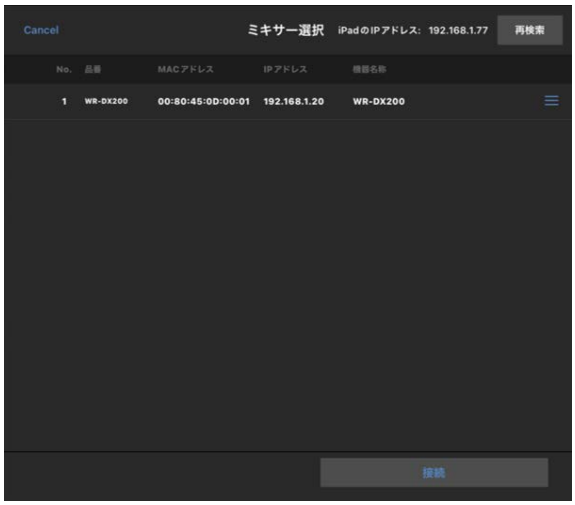
- オンラインモードでは、本体と接続し、本体の操作を本ソフトウェアから行うことができます。
- 本ソフトウェアでは、本体の設定を保存することはできません。設定値を保存する場合は、PC用リモートコントロールソフトで行ってください。

■ オフラインモード

- オフラインモードでは、本体と接続せずに本ソフトウェアを操作することができます（デモ操作）。操作した内容は本体には反映できません。
- オフラインモードでは、工場出荷状態の初期設定値で動作します。

■ オンラインモードへの切り替え

1 「カスタム」画面で［MENU］スイッチをタップして［オンライン］を選択すると、同一ネットワーク上にある本体を検索し、下記の「ミキサー選択」画面が表示されます。



2 接続する本体の行をタップします。タップすると、選択された本体番号（No.）の横にチェックマークが表示されます。

3 ［接続］スイッチをタップすると、「パスワード入力」画面が表示されます。

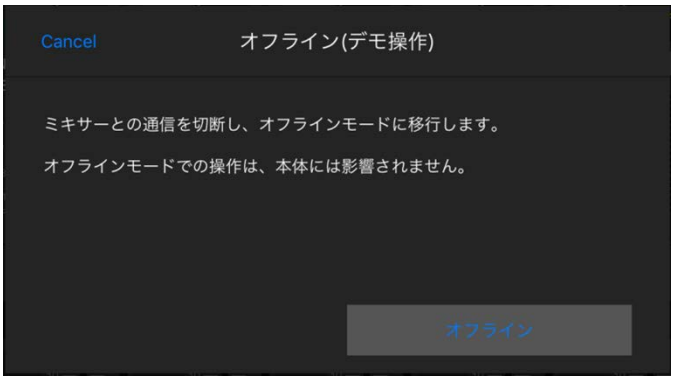


- 初回接続時は本体のパスワードを設定する画面を表示します。
  パスワードは半角英大文字、半角英小文字、数字、記号から8文字以上16文字以下で3種類以上組み合わせて設定してください。

4 設定したパスワードを入力することで本体に接続することができます。

■ オフラインモードへの切り替え

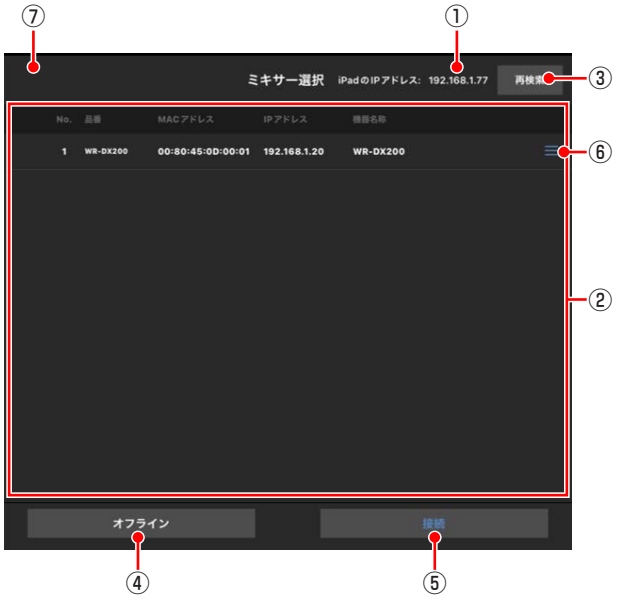
1 「カスタム」画面で［MENU］スイッチをタップして［オフライン(デモ操作)］を選択すると、「オフライン(デモ操作)」画面が表示されます。



2 ［オフライン］スイッチをタップすると、本ソフトウェアがオフラインモードで起動します。

■ オーディオミキサーの検索

本ソフトウェアで操作する本体を検索し、接続します。未登録の状態でオフライン操作することも可能です。



① **iPadのIPアドレス表示**
iPadのIPアドレスが表示されます。

② **検出機器一覧表示**
検出したWR-DX200/200DANを一覧表示します。表示される内容は以下のとおりです。

品番	本体の品番が表示されます。
MACアドレス	本体のMACアドレスが表示されます。
IPアドレス	本体のIPアドレスが表示されます。
機器名称	本体の名称が表示されます。

③ **再検索スイッチ［再検索］**
ネットワークに接続されている本体を再検索します。

④ **オフラインスイッチ［オフライン］**
オフラインモードで、本ソフトウェアを動作させます。
［オフライン］スイッチは、本ソフトウェア起動時にのみ表示されます。

⑤ **接続スイッチ［接続］**
選択したミキサーに接続します。

重要
- パスワードをお忘れの場合、本体を初期化してパスワードを再設定してください。初期化の設定については本体の取扱説明書をお読みください。

memo
- 初回接続時は本体のパスワードを設定する画面を表示します。パスワードは半角英大文字、半角英小文字、数字、記号から8文字以上16文字以下で3種類以上組み合わせて設定してください。
- iPadのキーボード環境により、一部の文字が入力できないことがあります。入力できる文字を使用してください。

⑥ **設定スイッチ**
「☰」をタップすると、「ミキサー設定」画面を表示し、選択した本体の設定を行います。（12ページ）

⑦ **キャンセルスイッチ［Cancel］**
「ミキサー選択」画面を閉じます。［Cancel］スイッチは「メニュー」画面で［オンライン］を選択して入ったときにのみ表示されます。

共通操作

以下に、本体の接続方法を説明します。

1 接続したい本体の右端にある設定スイッチ「☰」をタップします。「ミキサー設定」画面が表示されます。



重要

- 本体にパスワードを設定後は、本体起動後20分間のみミキサー設定ができます。

2 本体の接続モードを設定します。

「固定IP」「DHCP」から選択することができます。

memo

- 「ミキサー設定」画面で本体のネットワーク設定（IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、ポート番号）を行うことができます。
- 機器名称を設定すると、設定した名称を本体で確認することができます。機器名称は半角英数字／記号で最大16文字まで入力することができます。
- iPadのキーボード環境により、機器名称に一部の文字が入力できないことがあります。入力できる文字を使用してください。

3 ［OK］スイッチをタップします。

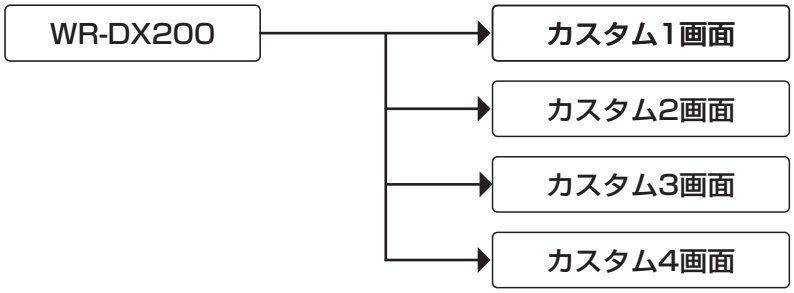
設定した内容が本体に保存されます。

基本操作

画面説明

ここでは各画面について説明します。

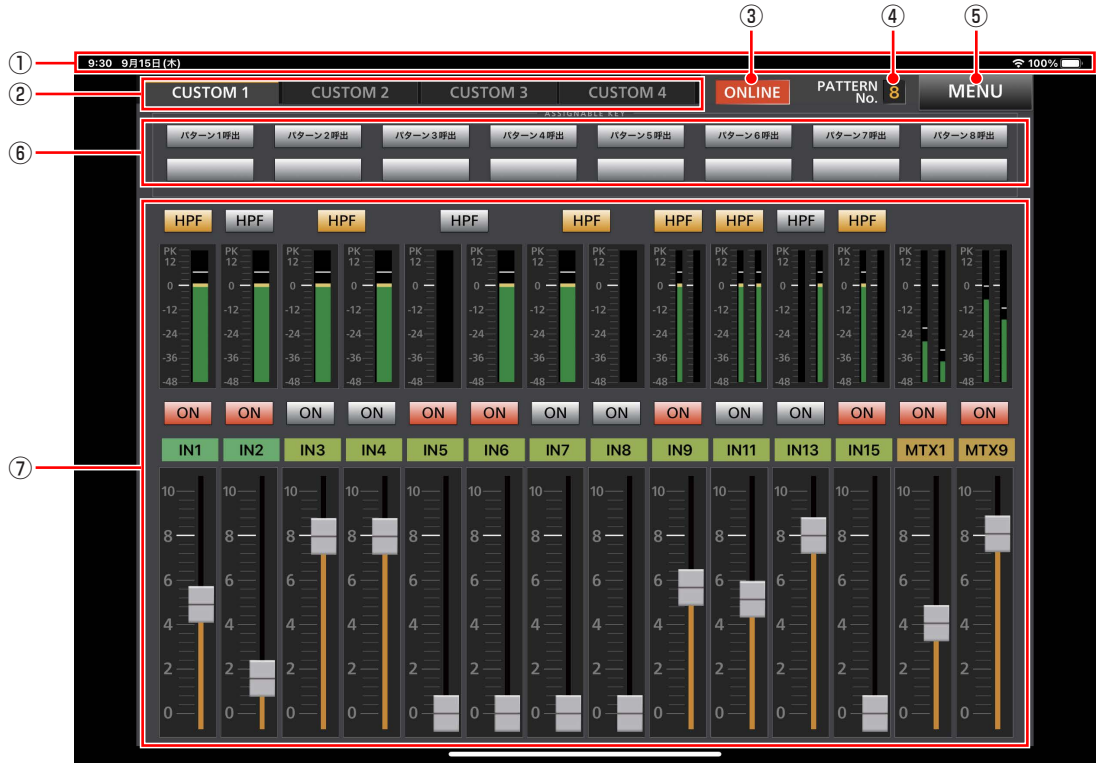
■ 画面構成



画面	画面概要説明
「カスタム」画面	「カスタム」画面ではユーザーが選択したチャンネルの設定状態を一覧で確認することができます。「カスタム」画面は４つあり、それぞれの画面に表示するチャンネルはアプリケーション設定画面にて選択します。また、設定したASSIGNABLE KEYの実行も行うことができます。

■ カスタム画面

「カスタム」画面を表示するには［CUSTOM］タブのいずれかをタップします。「カスタム」画面では、14チャンネル分のチャンネルストリップの設定状態を確認することができます。



① **ステータスバー**
ステータスバーには、iPadの現在の使用環境に関する情報が表示されます。

② **画面切り替えタブ**
表示する画面を切り替えます。
CUSTOM1タブ：「カスタム1」画面
CUSTOM2タブ：「カスタム2」画面
CUSTOM3タブ：「カスタム3」画面
CUSTOM4タブ：「カスタム4」画面

③ **通信状態表示**
本体との通信状態を表示します。
OFFLINE　：本体切断中（オフラインモード）
ONLINE　：本体接続中（オンラインモード）

④ **パターン番号表示［PATTERN No.］**
運用中のパターンメモリー番号を表示します。

⑤ **メニュースイッチ［MENU］**
スイッチをタップすると、「メニュー」画面が表示されます。（18ページ）

⑥ **アサイナブルキー［ASSIGNABLE KEY］**
各キーに機能を割り当て、設定した操作を行うことができます。（27ページ）

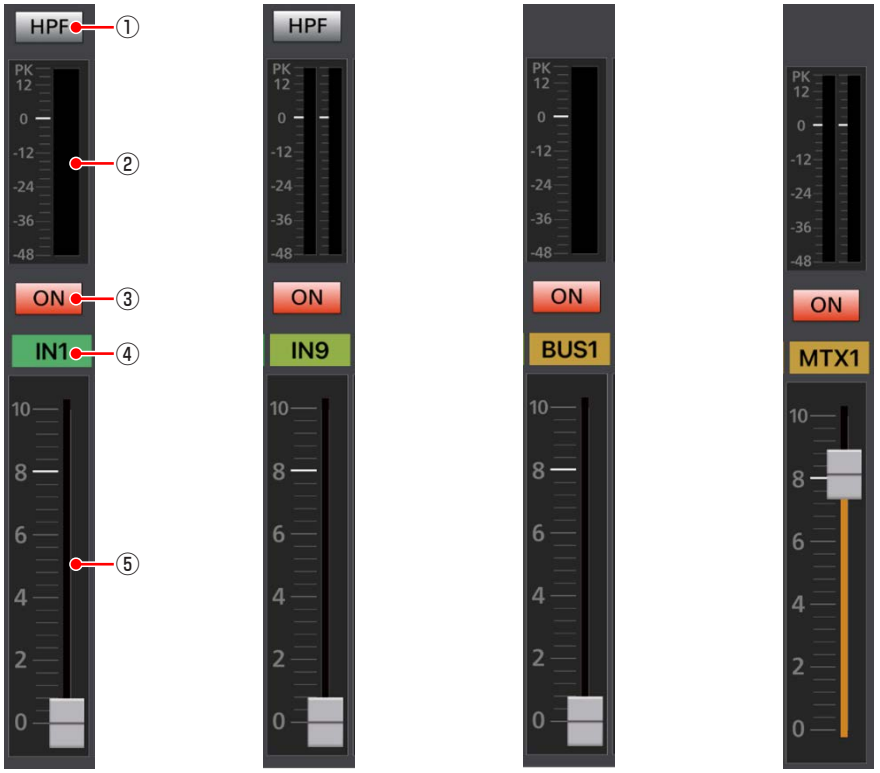
⑦ **チャンネル表示領域**
設定した14チャンネル分のチャンネルストリップを表示し、各チャンネルの設定状態を表示します。



- 本ソフトウェアでは操作できる設定に限りがあります。各チャンネルの詳細設定を行う場合は、PC用リモートコントロールソフトをお使いください。

チャンネルストリップ

1チャンネル分の各種機能の設定状態を表示します。チャンネル種別により、表示される機能が異なります。



モノラルインプット　ステレオインプット　バス　マトリクス

① **HPF表示［HPF］**

HPFの設定状態を表示します。インプットチャンネルのみ表示されます。

橙色　：ON
灰色　：OFF

- ステレオ設定時とフェーダーリンク設定時で表示が異なります。フェーダーリンク設定の場合は個別にHPFの設定をすることができます。



ステレオ設定時



フェーダーリンク設定時



- マイク使用時に低音が大きく聞こえる場合、HPF（ハイパスフィルター）をONにすることで低音をカットして音を聞きやすくすることができます。

② **レベルメーター**

接続している本体の音声信号のレベルを表示します。ステレオチャンネルを「カスタム画面」に1チャンネルだけ設定している場合、奇数チャンネルと偶数チャンネルの音声レベルを1つのチャンネルストリップで表示します。

③ **チャンネルスイッチ［ON］**

チャンネル音声出力のON/OFFを設定します。ミュートグループに所属している場合はミュートグループの実行状態によってもスイッチの状態が変化します。ステレオまたはフェーダーリンクのチャンネルの場合は、Lch、Rchのチャンネルスイッチが連動します。

赤色　：ON
灰色　：OFF

④ **チャンネル名称表示**

各チャンネルストリップで表示しているチャンネル種別とチャンネル名称を表示します。
チャンネル種別により、以下のように表示します。

緑色　：インプット
黄緑色：ステレオインプット、フェーダーリンクインプット
橙色　：バス、マトリクス

⑤ **フェーダー**

フェーダーをドラッグしてフェーダーレベルを調整します。ダブルタップするとフェーダーレベル調整用のガイドが表示されます。（17ページ）
ステレオまたはフェーダーリンクのチャンネルの場合は、Lch、Rchのフェーダーが連動します。

フェーダーレベル調節ガイドについて

フェーダーをダブルタップするとフェーダーレベル調節を補助する緑色のガイドが表示されます。このガイドを操作して、フェーダーレベルを微調整することができます。



ガイドをタップすると、フェーダーを1刻みずつ調節することができます。
ガイドをロングタップすると、フェーダーを連続して調節することができます。

応用操作

メニュー画面

「メニュー」画面は、本体との接続や、アプリケーションの設定、設定値の保存／読み込みを行うサブ画面を表示させるための画面です。[MENU] スイッチをタップすると「メニュー」画面が表示されます。下記が「メニュー」画面の一覧です。



No.	項目	機能概要	参照ページ
1	オンライン	本体と接続をするための画面です。	9
2	オフライン(デモ操作)	本体と接続せず使用するための画面です。また、オンラインモード動作中は本体との接続を解除することもできます。	9
3	アプリケーション設定	「アプリケーション設定」画面を表示します。 この画面では、起動方法／外部機器登録／外部機器コマンド登録／レイヤーカスタマイズ／カスタムレイヤー設定／ASSIGNABLE KEYカスタマイズ／パスコードの設定／認証設定を行うことができます。	19
4	バックアップ	「バックアップ」画面を表示します。 この画面では、外部機器、外部機器コマンド、カスタムレイヤー、ASSIGNABLE KEYの設定の保存または読み込みを行うことができます。他のiPadまたは有線接続したPCに保存した設定を転送することもできます。	31
5	このアプリケーションについて	このアプリケーションについて説明する画面を表示します。 この画面では、本ソフトウェアのバージョン情報とライセンス情報を表示します。オンラインモードでは接続中の本体のバージョン情報を表示します。	–

アプリケーション設定

アプリケーション設定では、起動方法／外部機器登録／外部機器コマンド登録／レイヤーカスタマイズ／カスタムレイヤー設定／ASSIGNABLE KEYカスタマイズ／パスコード／認証の設定を行います。「アプリケーション設定」画面は、「メニュー」画面の［アプリケーション設定］をタップすると表示されます。

- 外部機器、外部機器コマンド、カスタムレイヤー設定、ASSIGNABLE KEY設定に関して、本ソフトウェアで設定する機能はPC用リモートコントロールソフトで設定する機能とは別に、本ソフトウェア内で保存されます。設定内容は連動しませんので、それぞれ個別に設定を行ってください。



① **設定項目選択部**

項目を選択します。次の設定を行うことができます。

設定項目	内容	参照ページ
起動方法	本体の起動方法を設定します。	20
外部機器登録	本ソフトウェアから制御する外部機器を登録します。	20
外部機器コマンド登録	本ソフトウェアから制御する外部機器のコマンドを設定します。	22
レイヤーカスタマイズ	特定のカスタムレイヤーを表示しない設定を行うことができます。	24
カスタムレイヤー設定	「カスタム」画面に表示するチャンネルをカスタマイズすることができます。	25
ASSIGNABLE KEY カスタマイズ	アサイナブルキーに割り当てる機能を設定することができます。	27
パスコード	「アプリケーション設定」画面を表示するときのパスコードを設定します。	29
認証設定	本体のパスワードを変更することができます。	30

② **設定項目表示部**

設定項目選択部で選択した項目に関する設定を行います。

③ **OKスイッチ［OK］**

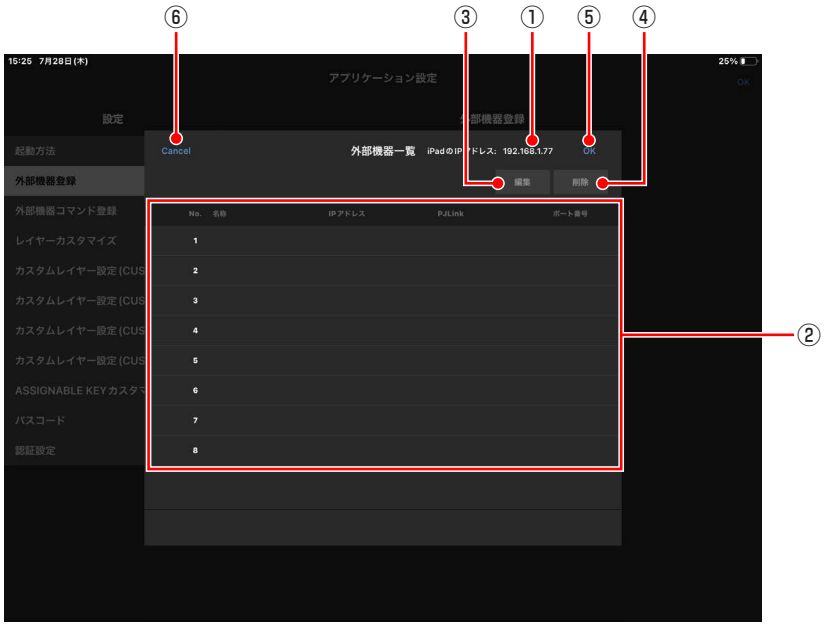
「アプリケーション設定」画面で設定した項目を確定します。すべての項目設定後に、［OK］スイッチをタップしてください。各項目画面の［OK］スイッチをタップした時点では、設定は保存されていません。

■ 起動方法

ここでは、本ソフトウェアの起動時の動作を設定します。
　起動時に選択　　：起動時に「ミキサー選択」画面の操作により、接続する本体を選択します。
　前回接続したミキサー：起動時に前回接続したミキサーに接続します。
初期設定：起動時に選択

■ 外部機器登録

ここでは、本ソフトウェアから制御する外部機器の登録を行います。



① **iPad設定表示**
　iPadのIPアドレスが表示されます。

② **外部機器一覧表示**
　登録する外部機器を一覧表示します。対象のNo.を選択し［編集］スイッチをタップすると、登録する機器の情報を設定することができます（21ページ）。表示される内容は以下のとおりです。

名称	名称登録時に設定した外部機器の名称を表示します。
IPアドレス	IPアドレス登録時に設定した外部機器のIPアドレスが表示されます。
PJLink	PJLinkの設定状態を表示します。PJLinkを使用する設定の場合、チェックマークが表示されます。
ポート番号	ポート番号登録時に設定した外部機器のポート番号が表示されます。

③ **編集スイッチ［編集］**
　②で選択したNo.（ナンバー）の外部機器情報を編集する「外部機器編集」画面が表示されます。（21ページ）

④ **削除スイッチ［削除］**
　タップすると確認画面が表示されます。［OK］スイッチをタップすると、②で選択した外部機器の登録を削除します。

⑤ **OKスイッチ［OK］**
　外部機器一覧の設定内容を登録し、「外部機器一覧」画面を閉じます。

⑥ **キャンセルスイッチ［Cancel］**
　タップすると確認画面が表示されます。［OK］スイッチをタップすると、編集内容を保存せずに「外部機器一覧」画面を閉じます。

応用操作

以下に外部機器の登録方法を説明します。

1 外部機器一覧表示で対象のNo.を選択し［編集］スイッチをタップします。

「外部機器編集」画面が表示されます。



2 外部機器の名称、IPアドレス、ポート番号を設定します。

- iPadのキーボード環境により、一部の文字が入力できないことがあります。入力できる文字を使用してください。

3 PJLinkを使用する場合、「ON」を設定します。

重要

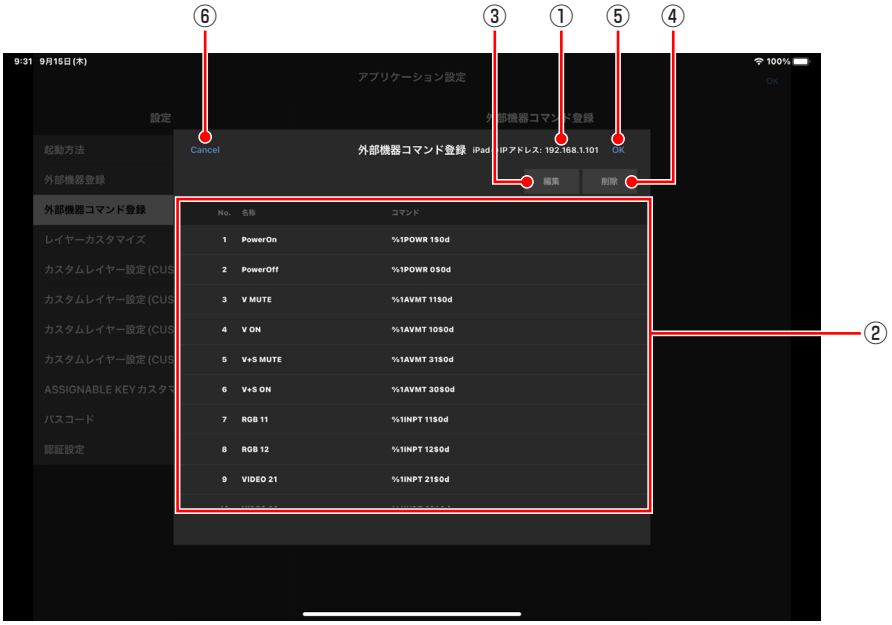
- PJLinkは、プロジェクターやディスプレイをメーカーを問わず操作・管理するための統一規格です。PJLinkに対応した製品であれば、本ソフトウェアからの制御を行うことができます。

4 外部機器に設定されているパスワードを入力します。

5 ［OK］スイッチをタップします。

■ 外部機器コマンド登録

本ソフトウェアから制御する外部機器のコマンドを設定します。



① **iPad設定表示**
iPadのIPアドレスが表示されます。

② **外部機器制御コマンド一覧表示**
登録する外部機器制御コマンドを一覧表示します。対象のNo.を選択し［編集］スイッチをタップすると、登録するコマンドの情報を設定することができます（23ページ）。表示される内容は以下のとおりです。

名称	名称登録時に設定した外部機器制御コマンドの名称を表示します。
コマンド	コマンド登録時に設定した外部機器制御コマンドを表示します。

③ **編集スイッチ［編集］**
②で選択したNo.（ナンバー）の外部機器制御コマンド情報を編集する「外部機器制御コマンド編集」画面が表示されます。（23ページ）

④ **削除スイッチ［削除］**
タップすると確認画面が表示されます。［OK］スイッチをタップすると、②で選択した外部機器制御コマンドの登録を削除します。

⑤ **OKスイッチ［OK］**
外部機器制御コマンド一覧の設定内容を登録し、「外部機器コマンド登録」画面を閉じます。

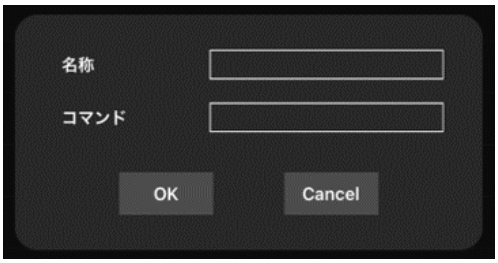
⑥ **キャンセルスイッチ［Cancel］**
タップすると確認画面が表示されます。［OK］スイッチをタップすると、編集内容を保存せずに「外部機器コマンド登録」画面を閉じます。

応用操作

以下に外部機器制御コマンドの登録方法を説明します。

1 外部機器制御コマンド一覧表示で対象のNo.を選択し［編集］スイッチをタップします。

「外部機器制御コマンド編集」画面が表示されます。



2 外部機器制御コマンドの名称とコマンドを設定します。

重要
- コマンドの名称は半角英数記号で16字まで入力することができます。
- 外部機器制御コマンドが16個登録済みの場合、コマンド追加を行うことはできません。

memo
- iPadのキーボード環境により、一部の文字が入力できないことがあります。入力できる文字を使用してください。

3 ［OK］スイッチをタップします。

設定した内容が外部機器制御コマンド一覧に表示されます。

■ レイヤーカスタマイズ

ここでは、「カスタム」画面に表示する画面切り替えタブ（14ページ）の表示／非表示の設定を行います。レイヤー表示スイッチON/OFFの切り替えにより設定します。



① **レイヤー表示スイッチ**

各レイヤーに対して画面切り替えタブへの表示設定を行います。

OFF：画面切り替えタブを表示しない。

ON ：画面切り替えタブを表示する。

初期設定：ON

■ カスタムレイヤー設定

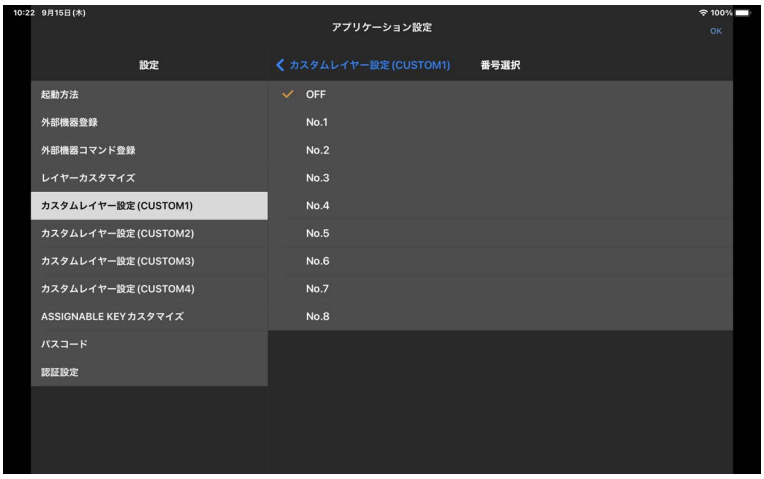
ここでは、「カスタム」画面に表示するチャンネルの設定を行います。「カスタム」画面は最大4種類表示することができ、各画面には異なるチャンネルを設定することができます。「カスタム」画面の表示／非表示については、24ページを参照してください。「カスタム」画面には、INPUT/BUS/MATRIXから最大14チャンネルを登録することができます。



① **接続時にミキサー操作ユニットのフェーダー設定を反映**

ミキサー操作ユニット（WR-PU200）のフェーダー設定を反映させることができます。反映させる場合はタップして、以下の画面で8台のミキサー操作ユニットから選択します。

初期設定：OFF



② **カスタムレイヤー設定（CUSTOM1～4）**

ミキサー操作ユニットのフェーダー設定を反映させない場合、本ソフトウェアでカスタムレイヤー設定を行うことができます。（26ページ）

カスタムレイヤー設定（CUSTOM1） 初期設定：

No.1 ：IN1	No.5 ：IN5	No.9 ：IN9	No.13：MTX9
No.2 ：IN2	No.6 ：IN6	No.10：IN11	No.14：MTX1
No.3 ：IN3	No.7 ：IN7	No.11：IN13	
No.4 ：IN4	No.8 ：IN8	No.12：IN15	

カスタムレイヤー設定（CUSTOM2～CUSTOM4） 初期設定：OFF



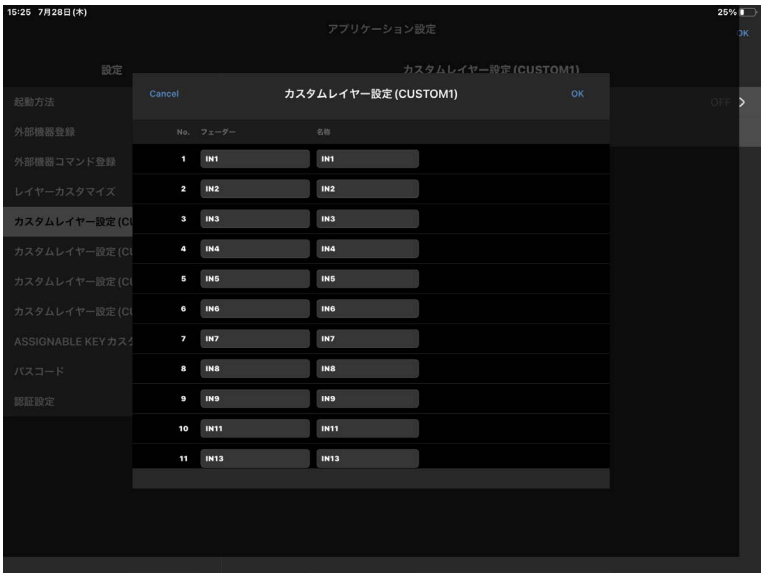
- ミキサー操作ユニットの設定を反映させる場合、本ソフトウェアでカスタムレイヤー設定を行うことはできません。
- ミキサー操作ユニットのフェーダー設定がPC用リモートコントロールソフトで変更された場合、本ソフトウェアが再度オンライン接続することでカスタムレイヤー設定に反映されます。

応用操作

ミキサー操作ユニットのフェーダー設定を反映させない場合のカスタムレイヤーの設定方法を説明します。

1 ［カスタムレイヤー設定(CUSTOM1)］をタップします。

「カスタムレイヤー設定」画面が表示されます。



2 カスタムレイヤーに設定するチャンネルとチャンネルの名称を設定します。

OFF、IN1～32、BUS1～16、MATRIX1～16をリストから選択します。
設定を反映した「カスタムレイヤー設定」画面が表示されます。

- フェーダーにチャンネルを設定した場合、本体に保存されているチャンネル名称を自動的に反映します。
- 本ソフトウェアでチャンネル名称を変更した場合、本体に保存されているチャンネル名称は上書きされます。
- iPadのキーボード環境により、一部の文字が入力できないことがあります。入力できる文字を使用してください。

3 ［OK］スイッチをタップします。

設定した内容が保存されます。

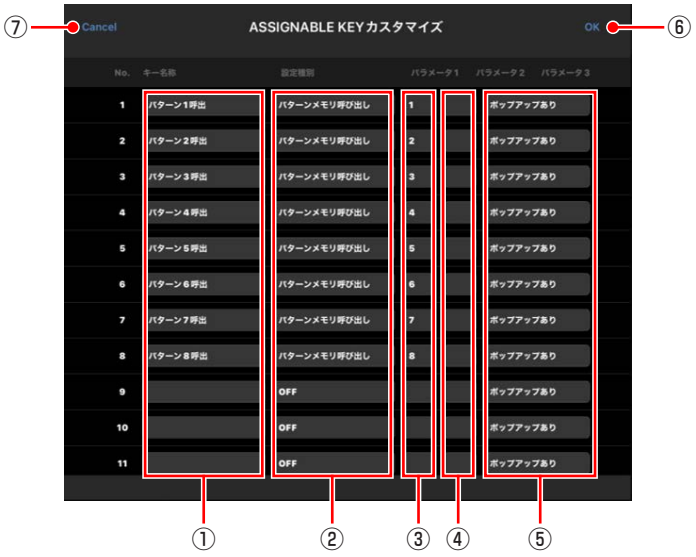
- 「アプリケーション設定」画面の［OK］スイッチをタップすると設定した内容が反映されます。
- ［Cancel］スイッチをタップすると設定内容は保存されません。

■ ASSIGNABLE KEYカスタマイズ

ここでは、「カスタム」画面に表示するASSIGNABLE KEYの設定を行います。



［ASSIGNABLE KEYカスタマイズ］をタップすると、「ASSIGNABLE KEYカスタマイズ」画面を表示します。



① **ASSIGNABLE KEY名称表示［キー名称］**
ASSIGNABLE KEYごとの名称が表示されます。タップすると名称（シフトJIS14文字まで）を入力することができます。

- iPadのキーボード環境により、一部の文字が入力できないことがあります。入力できる文字を使用してください。

② **設定種別［設定種別］**
ASSIGNABLE KEYに設定する機能を選択することができます。機能の一覧を下の表に示します。

設定種別	パラメータ1	パラメータ2	パラメータ3	機能
パターンメモリ呼び出し	1-32	−	ポップアップあり、ポップアップなし	設定したパターンメモリーの呼び出しを行います。
外部接点出力	1-4	−	ポップアップあり、ポップアップなし	PC用リモートコントロールソフトの制御入出力設定で設定した接点出力を行います。
外部コマンド送信	1-8	1-16	ポップアップあり、ポップアップなし	外部機器にコマンドの送信を行います。パラメータ1でコマンドを送る対象の外部機器を選択し、パラメータ2で送るコマンドを選択します。
ミュートグループON/OFF	1-4	−	ポップアップあり、ポップアップなし	パラメータ1で設定したミュートグループのON/OFFを行います。
OFF	−	−	−	−

③ **パラメータ1設定［パラメータ1］**
ASSIGNABLE KEYに設定する機能のパラメータ1を選択することができます。
各設定種別のパラメータ1の内容は以下のとおりです。

パターンメモリ呼び出し	パターンメモリ番号（1〜32）を選択します。
外部接点出力	本体の外部接点出力の制御対象を選択します。
外部コマンド送信	本ソフトウェアに登録した外部機器の番号を選択します。
ミュートグループON/OFF	本体に設定されているミュートグループを選択します。

④ **パラメータ2設定［パラメータ2］**
ASSIGNABLE KEYに設定する機能のパラメータ2を選択することができます。

⑤ **ポップアップあり／なし設定［パラメータ3］**
ASSIGNABLE KEYをタップした場合に、実行するかどうか選択するポップアップの表示／非表示を選択することができます。

⑥ **OKスイッチ［OK］**
ASSIGNABLE KEYカスタマイズの設定内容を登録し、「ASSIGNABLE KEYカスタマイズ」画面を閉じます。

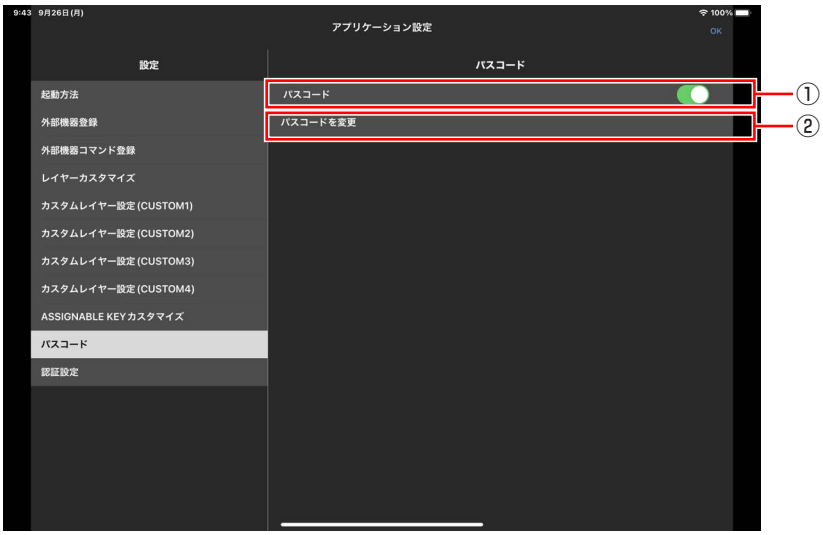
⑦ **キャンセルスイッチ［Cancel］**
編集内容を保存せずに、「ASSIGNABLE KEYカスタマイズ」画面を閉じます。

初期設定：

No.	設定種別	パラメータ1	パラメータ2	パラメータ3
1	パターンメモリ呼び出し	1	−	ポップアップあり
2	パターンメモリ呼び出し	2	−	ポップアップあり
3	パターンメモリ呼び出し	3	−	ポップアップあり
4	パターンメモリ呼び出し	4	−	ポップアップあり
5	パターンメモリ呼び出し	5	−	ポップアップあり
6	パターンメモリ呼び出し	6	−	ポップアップあり
7	パターンメモリ呼び出し	7	−	ポップアップあり
8	パターンメモリ呼び出し	8	−	ポップアップあり
9	OFF	−	−	−
10	OFF	−	−	−
11	OFF	−	−	−
12	OFF	−	−	−
13	OFF	−	−	−
14	OFF	−	−	−
15	OFF	−	−	−
16	OFF	−	−	−

■ パスコード設定

ここでは、パスコードの設定ができます。パスコードをONに設定すると、「メニュー」画面で［アプリケーション設定］を選択したときにパスコード入力を促す画面を表示します。



① **パスコード**

パスコードの無効／有効を設定します。

OFF：パスコードを無効にする。

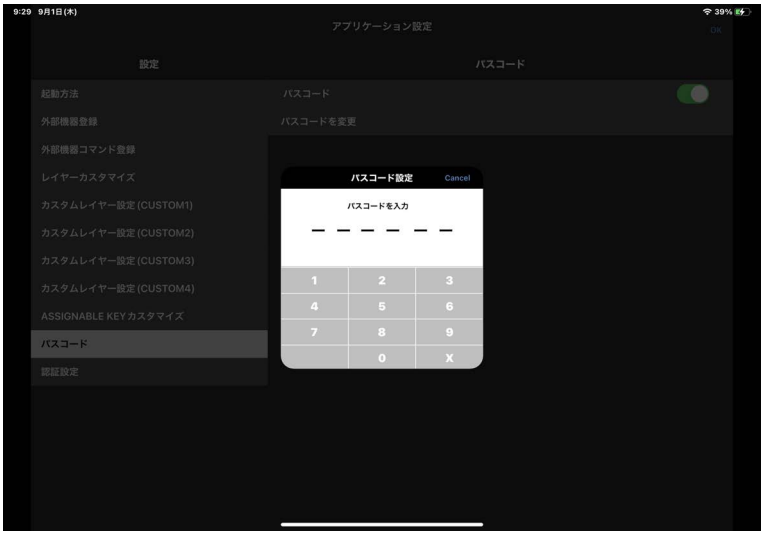
ON ：パスコードを有効にする。

初期設定：OFF

- OFFからONに変更すると「パスコード設定」画面が表示されます。パスコードは6桁の数字を設定します。

② **パスコードを変更**

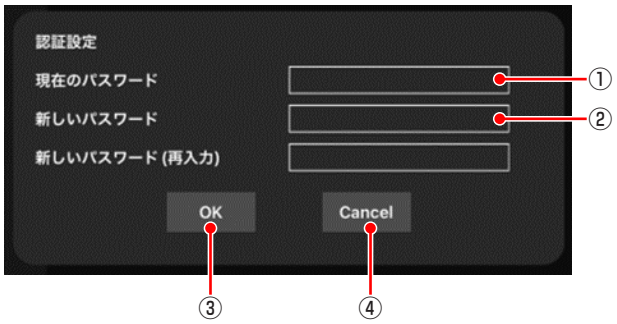
パスコードの設定がONのとき、パスコードを変更することができます。［パスコードの変更］をタップすると「パスコード設定」画面が表示されます。



- パスコードを忘れた場合、アプリケーションの再インストールを行うことで、パスコードをリセットすることが可能です。

■ 認証設定

ここでは、本体のパスワードの設定ができます。「アプリケーション設定」画面の［認証設定］をタップすると、以下の画面が表示されます。



① **現在のパスワード**
本体に設定されている現在のパスワードを入力します。

② **新しいパスワード**
本体のパスワードを変更する場合に入力します。パスワードは半角英大文字、半角英小文字、数字、記号から8文字以上16文字以下で3種類以上組み合わせて設定してください。

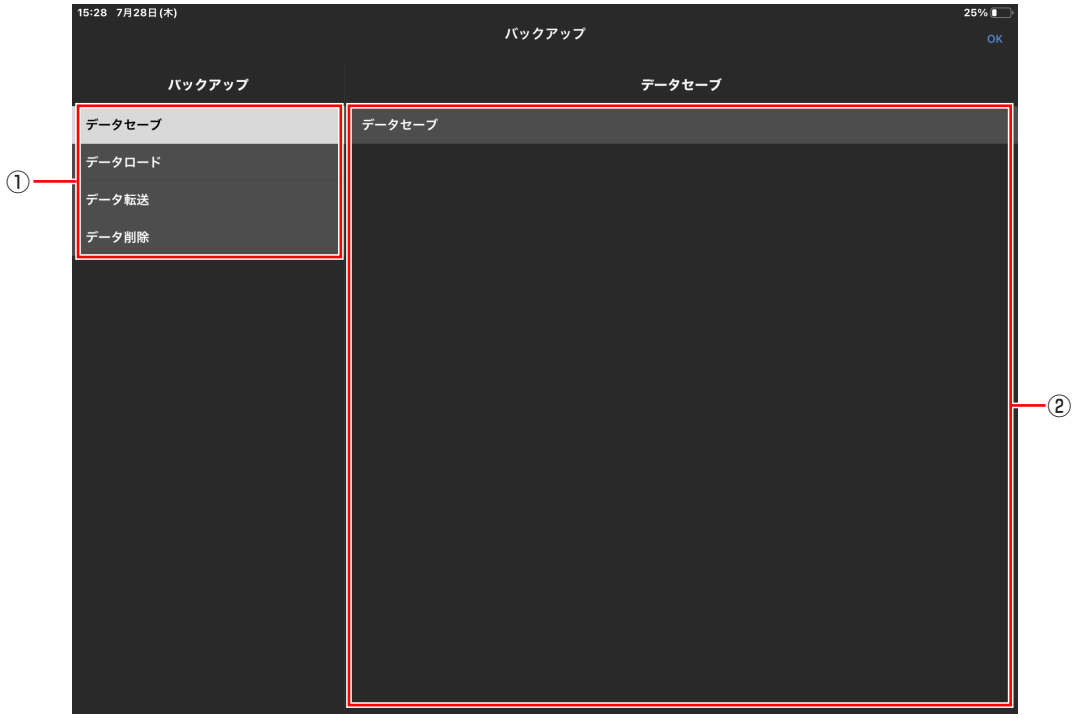
③ **OKスイッチ［OK］**
パスワードを正しく設定している場合、パスワードの変更を行います。

④ **キャンセルスイッチ［Cancel］**
パスワードの変更をせずに「認証設定」画面を閉じます。

- 本体のパスワードを忘れた場合、本体を初期化することでパスワードをリセットすることが可能です。初期化の設定については本体の取扱説明書をお読みください。
- 認証設定はオフラインモードでは変更することができません。
- iPadのキーボード環境により、一部の文字が入力できないことがあります。入力できる文字を使用してください。

バックアップ

バックアップでは、外部機器、外部機器制御コマンド、カスタムレイヤー、ASSIGNABLE KEY設定の保存または読み込みを行うことができます。「バックアップ」画面は、「メニュー」画面の［バックアップ］をタップすると表示されます。



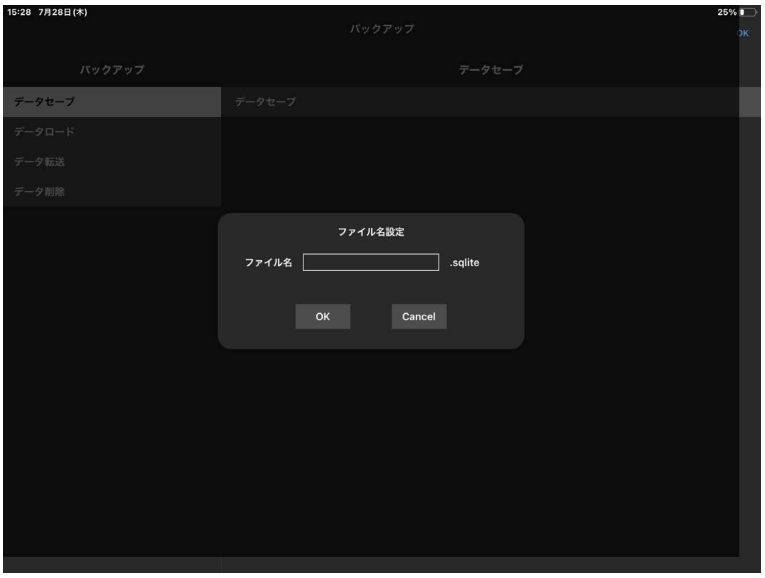
① **バックアップ項目選択部**
項目を選択します。次の操作を行うことができます。

バックアップ項目	内容	参照ページ
データセーブ	本ソフトウェアで設定されている設定データを保存します。	32
データロード	iPadに保存されている本ソフトウェアの設定データを読み込みます。	33
データ転送	iPadに保存されている本ソフトウェアの設定データを他のiPadまたは有線接続したPCに転送します。	34
データ削除	iPadに保存されている本ソフトウェアの設定データを削除します。	35

② **設定項目表示部**
バックアップ項目選択部で選択した項目に関する設定を行います。

■ データセーブ

ここでは、本ソフトウェアで設定した設定データの保存を行うことができます。設定項目表示部の［データセーブ］をタップすると、「ファイル名設定」画面を表示します。



ファイル名を設定して［OK］スイッチをタップすると、設定データの保存を行います。

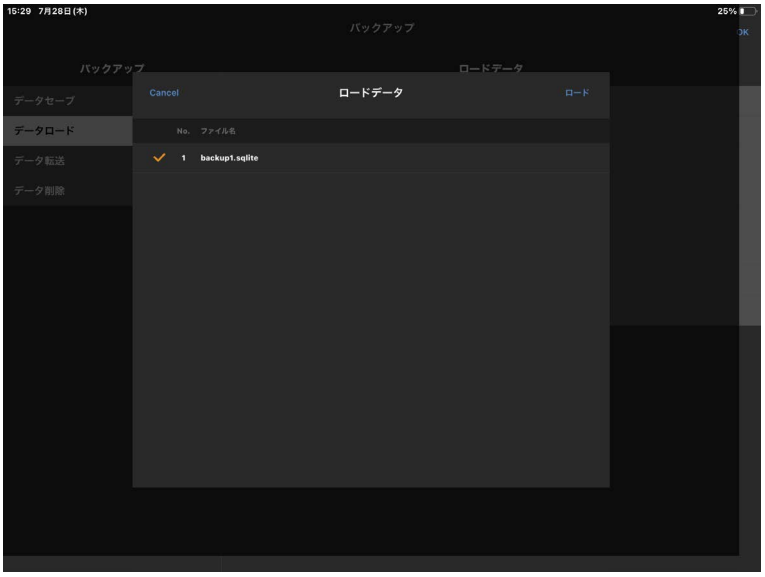
- ファイルの拡張子は［.sqlite］です。ファイル名は半角もしくは全角で16文字まで入力することができます。
- すでに保存されているファイルと同じ名称を設定することはできません。
- iPadのキーボード環境により、一部の文字が入力できないことがあります。入力できる文字を使用してください。

■ データロード

ここでは、本ソフトウェアで設定した設定データの読み込みを行うことができます。保存したデータを一括または個別に読み込みます。



設定項目表示部のいずれかの項目をタップすると、「ロードデータ」画面を表示します。



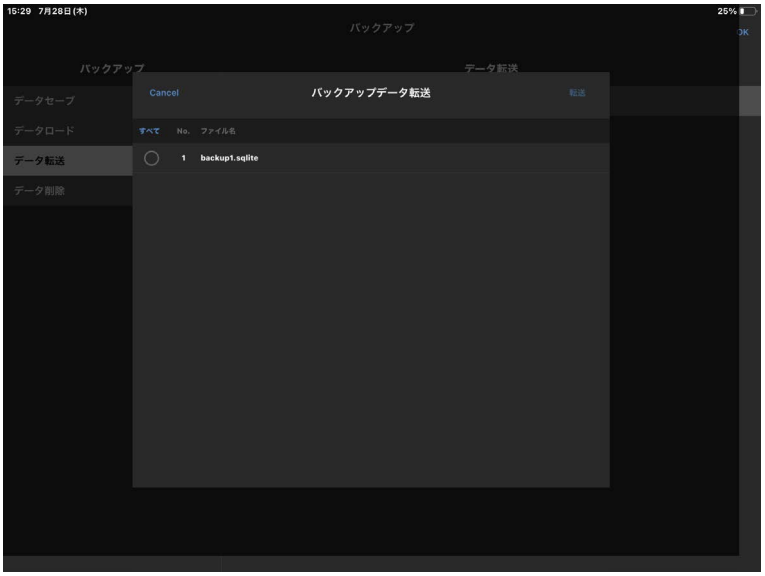
読み込む設定データを選択して、［ロード］をタップすることで設定データを読み込むことができます。

■ データ転送

本ソフトウェアで設定した設定データを他のiPadまたは有線接続したPCに転送することができます。



設定項目表示部の［データ転送］をタップすると、「バックアップデータ転送」画面を表示します。



転送するバックアップデータを選択して、［転送］をタップすることで他のiPadまたは有線接続したPCに転送を行うことができます。



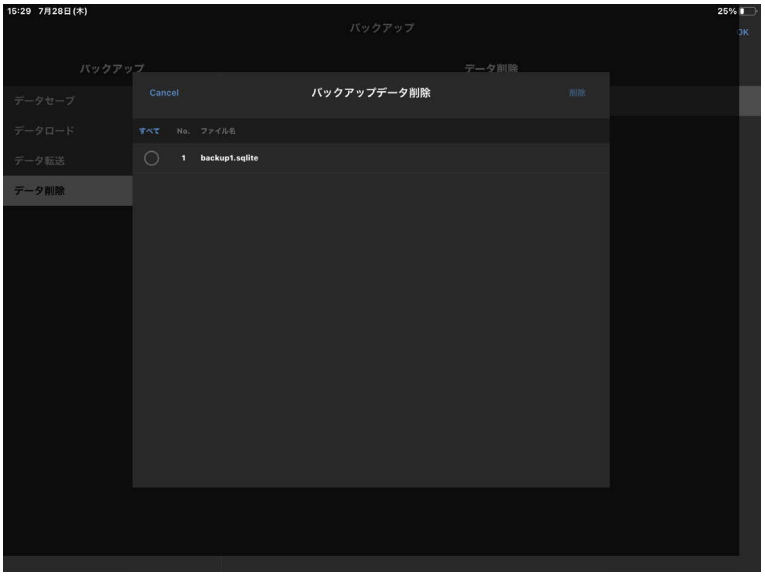
- バックアップデータは複数選択して転送することが可能です。

■ データ削除

本ソフトウェアで設定した設定データを削除することができます。



設定項目表示部の［データ削除］をタップすると、「バックアップデータ削除」画面を表示します。



削除するバックアップデータを選択して、［削除］をタップすることで削除を行うことができます。



- バックアップデータは複数選択して削除することが可能です。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。
これらの処置をしても直らないときや、この表以外の症状のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

現象	原因・対策	参照ページ
本ソフトウェアから本体にアクセスできない	● iPadのWi-Fi設定はONになっていますか？ → iPadのWi-Fi設定を確認してください。	—
	● Wi-Fiルーターと接続できていますか？ → iPadがネットワークに接続されていることを確認してください。	—
	● 本体の電源は入っていますか？ → 本体の電源が入っていることを確認してください。	本体 取扱説明書
	● 本体に既に合計8台のリモートコントロールソフト（PC用、iPad用）、ミキサー操作ユニット 、外部機器が接続されていませんか？ → 本体に同時に接続できる機器は合計8台です。	—
	● 本体とiPadは同一ネットワーク上に接続されていますか？ → 本体およびiPadのネットワーク設定を確認してください。	7
	● 本体のIPアドレスが他の機器と重複していませんか？ → 本体のIPアドレスを他の機器と重複しないように設定してください。	7
	● 認証設定のパスワードは合っていますか？ → 現在設定されているパスワードを入力してください。	10、30
	● 認証設定のパスワードにiPadで入力できない文字が設定されていませんか？ → PC用リモートコントロールソフトでパスワードの再設定を行ってください。	PC用リモートコントロールソフト 取扱説明書
本ソフトウェアから本体の操作を行うことができない	● オフラインモードになっていませんか？ → 本体を制御するにはオンラインモードにする必要があります。	9
本体のミキサー設定を変更することができない	● ミキサー設定は本体が起動してから20分が経過している場合、編集することができません。 → 本体の電源を入れ直してから、20分以内にミキサー設定を行ってください。	—

■使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■その他ご不明な点は下記へご相談ください。

システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル 携帯OK **0120-878-410**（パナハ ヨイワ） 受付：9時～17時30分（土・日・祝日は受付のみ）

※携帯電話からもご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは　https://connect.panasonic.com/jp-ja/support_cs-contact

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック コネクト株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック コネクト株式会社
パナソニック エンターテインメント＆コミュニケーション株式会社

〒812-8531　福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号

© Panasonic Entertainment & Communication Co., Ltd. 2024

PUQP1017YA
F1022-1064